

行基の作った久米田池と周辺散策

担当：4班

年間 125 種類もの野鳥が飛来し『野鳥の国際空港』ともよばれる大阪府下最大のため池久米田池。この久米田池周辺には「久米田古墳群」や僧行基が開基した「久米田寺」など史跡が点在します。久米田池で観測できる野鳥など、自然に親しむとともに久米田池周辺の歴史にふれてみませんか。

【実施日】：2026年1月30日（金）

【集合】：JR 阪和線久米田駅 10時

【行程】：久米田駅→久米田公園→久米田寺→久米田池（昼食、班長会議）池周囲散策→浄行寺→熊野街道→下松駅（解散 14:30 頃）

* 岸和田ボランティアガイドさんの案内をお願いします

【持ち物】：弁当 飲み物 敷物 防風・防寒着 双眼鏡など

* 前日の天気予報で降水確率 50%以上の場合は中止として全体メールで配信します

* 各班班長は参加人数を 1/23 までに 4 班班長 中村までお知らせください



久米田池

大阪府内のため池の中で最大の水面面積を誇る農業用水・養魚池。神亀 2 年（725）から天平 10 年（738）にかけて、僧行基によって付近の住民を組織して作られたと伝えられている。春と秋にはシギやチドリなどの旅鳥が羽根を休め、夏にはコアジサシなどの夏鳥、そして 3 月になると、北へ帰る前のカモたちが集結する。そのため年間を通して 125 種類もの鳥類が確認されている。また、ツバメの渡来の早さは府下で 1、2 を競うくらい早いものです。



久米田寺

僧行基が開削した久米田池の維持管理のため、天平 10 年（738）に開基したと伝えられている。境内の多宝塔には仏舎利が祀られ、靖霊殿には、三蔵法師のご遺骨を奉安している。



久米田公園

公園内には貝吹山古墳、風吹山古墳、無名塚古墳が現存し、周辺にもいくつかの古墳が存在する。平成 6 年（1994）から風吹山古墳の発掘調査が行われ、ほぼ未盗掘の埋葬施設から画紋帯獣鏡、鉄剣、轆刀、数千点におよぶ玉類などが出土した。